

みずほCustomer Desk Report 2018/02/14号(As of 2018/02/13)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	108.69
TKY 9:00AM	108.70	1.2301	133.70	1.3847	0.7858
SYD-NY High	108.78	1.2371	133.77	1.3924	0.7877
SYD-NY Low	107.40	1.2285	132.53	1.3833	0.7828
NY 5:00 PM	107.82	1.2351	133.18	1.3886	0.7860
NY DOW	24,640.45	39.18	日本2年債	-0.1500	0.00bp
NASDAQ	7,013.51	31.55	日本10年債	0.0600	▲1.00bp
S&P	2,662.94	6.94	米国2年債	2.1081	3.28bp
日経平均	21,244.68	▲137.94	米国5年債	2.5461	▲1.00bp
TOPIX	1,716.78	▲15.19	米国10年債	2.8321	▲2.54bp
シゴ日経先物	21,235	▲425.00	独10年債	0.7475	▲0.80bp
ロンドンFT	7,168.01	▲9.05	英10年債	1.6160	1.70bp
DAX	12,196.50	▲86.27	豪10年債	2.8575	▲3.00bp
ハンセン指数	29,839.53	379.90	USDJPY 1M Vol	9.41	0.31%
上海総合	3,184.96	30.83	USDJPY 3M Vol	9.25	0.13%
NY金	1,330.40	4.00	USDJPY 6M Vol	9.21	0.13%
WTI	59.19	▲0.10	USDJPY 1M 25RR	-2.03	Yen Call Over
CRB指数	189.84	0.75	EURJPY 3M Vol	10.22	▲0.13%
ドルインデックス	89.74	▲0.47	EURJPY 6M Vol	10.07	▲0.09%

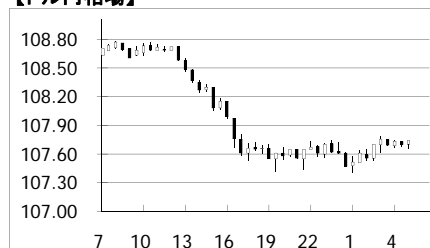
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月13日	18:30	英 PPI/CPI (前年比)	1月 2.8%/3.0%	3.0%/2.9%
22:00	米	マスター・クリーブランド連銀総裁「経済が予測通りとなれば今年、来年に追加利上げが必要」		

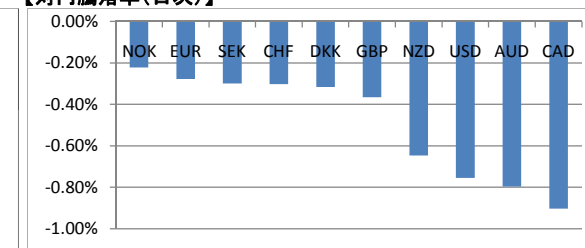
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月14日	8:50	日 GDP(前期比/前期比年率)・1次速報値	4Q 0.2%/1.0%	0.6%/2.5%
	17:00	独 ワイトマン独連銀総裁 講演	-	-
	19:00	欧 GDP(前期比/前年比)・速報値	4Q 0.6%/2.7%	0.6%/2.7%
22:30	米	CPI(前月比/前年比)	1月 0.3%/1.9%	0.2%/2.1%
22:30	米	CPI・コア(前月比/前年比)	1月 0.2%/1.7%	0.2%/1.8%
22:30	米	小売売上高(前月比)	1月 0.2%	0.4%
22:30	米	小売売上高・除く自動車(前月比)	1月 0.5%	0.4%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	107.40-108.40	1.2300-1.2400	132.50-133.50

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外時間のドル円は、やや上昇したもののアジア時間からの下落分を取り戻すほどではなかった。最近では108.50がサポートラインとして意識されていたが、アジア時間にこの水準を下げられ、その勢いのまま約1円弱の急落を見せた。海外時間に入ると、海外株式市場が落ち着きを取り戻しつつあることもあり、107.40-107.80での小幅なレンジ推移となり、アジア時間の下落圧力は一旦落ち着いている。本日は米CPIの発表を前に、様子見ムードとなるだろう。

東京	東京時間のドル円は108.70レベルでオープン。前日海外時間の流れを引き継ぎ、日経平均株価が前営業日比250円程度上昇して寄りつくものの、想定範囲内の動きにドル円の反応は鈍い。その後、先週末に一部報道機関から報じられた次期日銀総裁人事について、安倍首相より「まったくの白紙」とのコメントが見られたが、額面通りに受け取る向きは乏しく動意は限定的。さらに黒田日銀総裁より「強力な金融緩和を粘り強く進めていくことが重要」といった発言が伝わるも、108円台後半での上値の重さは払拭できず、狭いレンジ内での推移が続いた。午後に入り、日経平均株価が徐々に上げ幅を縮小する動きとなるとドル円も下落を開始。結局、日経平均株価が前営業日比マイナス圏まで落ち込む中、一時108.06まで値を下げて108.08レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は108.08レベルでオープン。黒田日銀総裁が低金利が銀行収益に与える影響について言及したことを海外勢が意識し、円買いが加速。さらに、米ロ首脳が北朝鮮問題について電話で会談したことが伝わると、地政学リスクが意識されて昨年9月以来となる107.42を現示。円買い一服後は、浅川財務次官が「投機的な動きはないか注視する」と円高を牽制したことからの反発し、107.65レベルでNYに渡った。ユーロは1.2323レベルでオープン。ワイトマン独連銀総裁が量的緩和の延長を否定し、またドラギECB総裁が欧州は不況から脱したとの見方を示す中、ECBの出口観測が浮上。1.2356まで堅調に推移し、1.2341レベルでNYに渡った。ポンドは1.3867レベルでオープン。アイルランド国務大臣が「ブレグジットを予定通り遂行することは非常に難しい」と発言したこととアイルランド国境問題が意識されると、1.3840まで下落。しかし、英1月CPIが前年比3.0%の上昇を示すと、1.3924まで急伸。1.3897レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	海外市場のドル円は軟調な株価を横目に108円近辺のストップを巻き込みながら昨年9月以来となる107.42まで下落し、107.65レベルでNYオープン。朝方は重要指標の発表もなく、107円台後半で方向感なく推移していたが、ロンドンフィクシングにかけてドルや欧州通貨に対して円買いが強まり、一時安値となる107.40まで下落。しかし、午後に入って米株がプラス圏に浮上し、さらに上げ幅を拡大する動きを受けてドル円も反発する流れとなり、107.82レベルでクロスした。またパウエルFRB議長は「金融安定へのいかなるリスクにも警戒を続ける」FRBは政策金利とバランスシート両方で緩やかな正常化を進める過程にある」と指摘。マスター・クリーブランド連銀総裁(2018年投票権あり)は「最近の株式市場の混乱は、自身の経済見通しに影響せず」「経済が予測通りとなれば今年・来年に追加利上げが必要」といった見解を示した。なお、クロス間際に一部報道機関からマスター氏がFRB副議長の候補者の一人として検討されていると報じられた。一方、ユーロは1.2342レベルでNYオープン。朝方は1.2327まで下落したが、その後は高値1.2371まで反発。午後は新規材料に欠ける中、レンジ内での推移に終始し、1.2351レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 田家・西谷